



# 学校だより

学校教育目標

ふるさとの魅力を発見・発信し、次代を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 19 号

令和 2 年 12 月 24 日発行

文責 校長 宮地 浩幸

## 租税教室

12月17日(木)に税務署から講師をお招きして、小学6年生以上を対象に税金について詳しく指導をしてもらいました。子ども達はもし税金が無ければどんなことが起こるのかというアニメのビデオを見て、「火事が起これば消してもらおうのにお金がかかる。」「交番で道案内は〇〇円、泥棒を捕まえるのに△△円かかる。」「道路を通行するにも□□円請求される。」などのあり得ない状況が生じることを理解することができました。税金は、家庭から出ていくお金というイメージばかりが強いのですが、結局私たちの暮らしのために使われていることを知り、実際は私たちのために戻ってきているということが分かりました。また現実的に子ども達が、高校卒業するまでに一人1000万円税金で賄われているという話を聞いた時にはびっくりするものがありました。今回の学習は市民生活の素養として身に付けるべき内容です。子ども達は税金について、基本的な知識を学んだわけですが、今後その使い方に対し自分で調べ、自分の考えを持てるようになればより深い学びへとつながっていきます。



## テレビ会議でいろいろ話すことが増える。

小学校の合同スピーチや中学校の「気になるニュース」でいろいろなテーマを決めて話し合いをするのですが、最近それを始める前に多少子ども同士の雑談があることにほっとしたのを感じます。例えば、中学生の雑談の中に受験を控えている生徒がいますので、互いの進路希望について情報を出し合ったりします。また、本校には女子生徒のみ、相手校は男子生徒のみなので、中学生らしい他愛もない男女の雑談があります。ICT機器を通じての会話ですが、陸部の学校で観られる一教室の風景があることが子ども達の発達段階としてとても貴重な時間であると感じます。

小学生の方も、先日「好きなキャラクター」とい



う非常に子ども達の日常会話の中心になっていることで、「鬼滅の刃の〇〇が好きとか、△△はかわいいとか」こちらもどこの教室でも普通に有りそうな話が飛び交うことに、それがとても貴重な時間だと感じました。学校教育は授業の中だけでなく子ども同士の関わり合いから、いろいろな面で培うものがあると確信するものです。

## 2 学期も終わり、残り少なくなりました。

夏休みを短縮して始まった 2 学期も本日で終わりです。2 学期を振り返るといろいろなことがありました。体育大会、文化祭、マラソン大会、おもしろ落語笑学校などなど。コロナ禍において例年にない形での実施でしたが、学校教育としての役割は果たせたのかなと安どするところです。子ども達の学校生活の状況も健全で、ほとんど問題視するところはなく、一生懸命頑張ったというのが率直な印象です。もちろん子ども達の頑張りのご家庭や地域の方々のご協力があったので、そのことには大変感謝申し上げる次第です。

これからいよいよ受験シーズンであり、本校でも次の進路決定に向けて全力で取り組まなければならない子ども達もいます。大きな学校では受験は団体戦とよく言います。学校や学年の雰囲気や合否に大きくかかわることが分かっているからです。本校児童生徒の健全な学校生活はきっと、受験生達にもいい影響を及ぼしてくれていると確信しています。

最後に、新型コロナウイルス感染症拡大の第 3 波が来ています。大都市圏を中心になかなか感染がやみません。九州も福岡を中心に感染者が増え続けています。今年は感染拡大防止に努め静かな年末になりそうですが、このままでは新学期に休校にならないか心配をしています。また、これからはインフルエンザも流行する時期になってきました。6 人の児童生徒は病気で欠席したことはありません。これは、ご家庭での健康管理がきちんと行き届いていることと、子ども達の体力に起因するものだと思います。十分な栄養と睡眠そして適度な運動が欠かせません。年始で、世の中がお祝いムードの中で、何かと不規則な生活を行い、栄養過多になりがちなこの時期です。規則正しい生活リズム、規則正しい食生活をできるだけ意識し、自己の健康管理にも十分気を付けて冬季休業を過ごし、元気な姿で新学期を迎えることを期待します。



## 望ましい学校の姿

子ども達は、4 月と比べて身体的にも、精神的にも大きく成長していることを感じます。本校の特徴は、へき地の極小規模校ですが、その強みとして、子ども達にきちんと目が届きます。子ども一人ひとりの個性に合わせて、教職員一同細かく指導をしてきたと思います。学力も飛躍的に伸びました。スポーツの成果も現れています。

これまで、年度初めに校舎周りに痕跡を残していたイノシシも今は影を潜めています。イノシシの駆除には民生委員の方々に多大なご苦勞を掛けました。育友会の皆様には除草作業をはじめ、学校環境の整備にご尽力いただきました。保護者参観では全家庭の保護者全員で学校に足を運んでもらいました。地域や保護者からの見守り体制は大変ありがたく感じます。

毎日、校門で子ども達の登校を待っていると元気な声であいさつができています。そのことに私たちの方が元気をもらいます。毎日楽しく学校生活を送る子ども達と教育することの喜びを感じ、共に成長する職員の姿が見られます。加唐小中学校は、職員、保護者、地域が協力し、子ども達が安心して安全に勉強やスポーツに励むことができる望ましい学校だと確信しています。

